

《2025 年度》ヨコミネ式教育 進行予定表

《2 歳児》

		日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末達成目標	
読み	1	平仮名に興味を持つ YouTube等の映像で楽しく行う 保育室に平仮名表を掲示して定期的に読み合わせをする						ひらがな46文字 フラッシュカード(絵カード・50音表を使用)を使用してデンポよく行う							①ひらがな46文字を読めること100% ②ひらがなに興味を持つ。	
	2															
	3	自分の名前が分かる			自分の名前の平仮名を並べられるようになる		椅子に座って活動に取り組んでいる	各自に50音表カードを渡す	10月入園以降の子とは違う取り組みをしてみる			全ての文字が読めるようになった子から、読み始めを始めていく。		3月末でひらがな46文字読める		
	4	物の名前に興味を示す							(基本的には、個々によって変える。)							
	5															
	6	毎日ホワイトボードに月・日・曜日を書く。また、短い単語と絵を書き、平仮名に興味を持てるようにする。														
	7															
書き	8	遊び感覚で、【書く】【描く】ことを楽しむ													①筆圧が強くなる。 ②鉛筆の持ち方を意識する。 ③椅子に座り、机に向かって学習出来るようになる。	
	9	指先を使う遊びを楽しむ。(つまむ・やぶく・丸める・はさむ等)														
	10	パスや絵具を使用し、大きさは気にせずなぐり書きを楽しむ						素材の大きさを意識しながら描く。		塗り絵に挑戦する。						
	11						筆圧に最大の注意を払い、強くしていく。				筆圧強く、枠にとらわれずに力強く塗る。		角・細かい部分も意識し、枠からはみ出ないように力強く塗る。			
	12															
	13	鉛筆の大きさ・太さを使用するときには、「持ち方くん」を使用して自然に慣れる様にする。教え込まない。														
	14													顔が描けるようになる		
計算	15	遊び感覚で繰り返し行い、自然に理解できるようにする。 まずは、数・数字があることを知る。													①1～10の数の理解100%	
	16	自分の年齢が分かり、言えるようになる。	カレンダーや日付表を使用し、数字に興味を持つ。				フラッシュカードを使用し、1～5が言えるようになる。			フラッシュカードを使用し、1～10が言えるようになる。			1～10の数字を理解する。			
	17															
	18															
	19															
	20															
	21															
体操	22	楽しんで体操に参加する													全園児が以下について出来る (100%) ①逆足立ち5秒 ②ブリッジ5秒 ③開脚前屈 ④アザラシ5秒 ⑤真横 ⑥「はい」の返事 ⑦靴を揃えて開ける ⑧靴下のきくらんぼが出来る ⑨椅子に座れる様になっている	
	23	体を動かすことを楽しむ。YouTube等の映像で楽しく行う					開脚・柔軟・前後の導入									
	24		(トランポリン・平均台・トンネルなどを使用したサーキット遊び)					アザラシの導入		アザラシが出来るようになる。(5秒)						
	25		動物模倣						ブリッジの導入			ブリッジが出来るようになる(5秒)				
	26										逆足立ちの導入			逆足立ちが出来るようになる(5秒)		
	27		走ることを楽しむ。					かけっこに挑戦する。(競争)					かけっこに挑戦する。(量・競争)			
	28		集合・整列が出来る						靴を揃えて開けるようになる		「はい」の返事が出来るようになる。		靴下の「きくらんぼ」が出来るようになる			

- [留意点] ①読み・書き・計算は何があってもそれぞれ必ず毎日 20 分ずつ行う。省略してはいけない。(行事日等で) 難しいときは 5 分でも良い。(重要)
- ②自学・体操・音楽の中で特に『自学』が重要です。
- ③子どもやる気を引き出す『4つのスイッチ』⇒「競争したがる」「真似をしたがる」「ちょっとだけ難しいことをしたがる」「認められたがる」

《3歳児》

		日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末達成目標			
読み		1	ひらがな46文字・フラッシュカード（絵カード、50音表使用）				カタカナ・ひらがな単語（カード・よめたよめた等）			清音【'・'・半濁音【*】 短音【peɪz】・促音【ɔɪ】・長音【-】				①ひらがな・カタカナの全ての文字が読める。100% ②年間読書冊数目標：200冊以上				
		2			本読み【全てのひらがなが読めた子どもから順次始める（自学自習）】													
		3	保育室に50音表掲示 数種類 各自に50音表カード 配布	本読みノート準備 （日付・本名を書く）	7月末日迄 全頁ひらがな46文字 が読める													
		4																
		5																
		6	毎日：月日・短文などホワイトボードに掲示 50音の唱和															
		7	この時期はまずは文字の「ひらがな」をしっかりと覚える															
書き		8	遊び感覚でクレヨンで 自由画帳等になぐり書き		塗り絵 【導入教材】	塗り絵 【見て真似る】	はじめのいっぽ①								①「はじめのいっぽ①」終了100% 【留意点】 筆圧強く、しっかりなぞる、見て真似ることが出来る。 ②できていないのになど先に進まない。 ③上記が出来ていない子どもには十分時間をかけて取り組む。			
		9																
		10	筆圧に最大の注意を払う 月位から鉛筆での筆圧の弱い子は、 「持ち方くん」を使用		*持からはみ出さずに 筆圧強く塗る *角、端がいつ分を塗る ことにより正しい持ち方を学ぶ	*はみ出さない。 筆圧、持ち方 *見て真似ることができ るように書く	*ひらがな読みが全て合格した子どもから順次入る。 *最初は大人数で行わず個別に行う *止め・はね・はらいも最初から伝えるが、出来る子を育てて周囲の子に意図付けをしながら出来るようにしていく！	*										
		11																
		12																
		13																
		14																
計算		15	数字の概念【読み・量と大小・隣接・構成】をテキストを使用しないで徹底して繰り返す							算数練習帳②（①は使用しない）			算数練習帳③【年中4月迄】		①「算数練習帳②」終了100% ②「算数練習帳③」50頁まで終了100% 【留意点】 数字の概念を理解（全員1～10迄の数は理解している）			
		16																
		17	遊び感覚で繰り返し行い、数字の概念を自然に理解する （数字を通じた遊びの会話で、子ども達との信頼関係を深める）															
		18																
		19	数は日常に色々あるのでそれを意識する、させる。															
		20								少しずつ「時計を意識」させる。まずは5分毎の読み方。（数字の延長）								
		21																
体操		22	準備体操は、体操前に、体操後1分間全力疾走（途中変化あり）～柔軟まで5分・*													①全力のかけっこ ②アザラン30秒 100% ③壁逆立ち（正しい形・降り方）100% ④ブリッジ歩き5m 100%		
		23	走ることが楽しい		かけっこ（量&競争）			かけっこ（量&競争&質）		かけっこ&持久走								
		24	たくさんの運動を行う いろいろな動き作り （動物歩行・けんけんなど） ・いろいろな動き作り ・形作り 開脚・柔軟の導入 アザランの導入 ブリッジの導入			開脚・柔軟練習				ブリッジから手踏み足踏み								
		25				アザラン30秒100%		・カエルジャンプ ・腕支持の練習		胸つけブリッジ（柔軟性・強さ）								
		26				楽しんで参加する 15秒で整列完了		ブリッジ30秒100%		・逆さまで止まる練習 ・壁逆立ちの導入		ブリッジ歩き			ブリッジ歩き2m 100%		ブリッジ歩き積み上げ ブリッジ歩き5m 100%	
		27						正しい形を求める（指先・足先）		・運動会の練習		壁逆立ち			壁逆立ち100%		正しい形/方100% 正しい形・降り方 100%	
		28								最初から正しい形を行いたい方を伝える（最初のお手本は年長さんで行う）								

- 【留意点】①読み・書き・計算は何があってもそれぞれ必ず毎日 20 分ずつ行う。省略してはいけない。（行事日等で）難しいときは 5 分でも良い。（重要）
- ②自学・体操・音楽の中で特に『自学』が重要です。
- ③子どもやる気を引き出す『4つのスイッチ』⇒「競争したがる」「真似をしたがる」「ちょっとだけ難しいことをしたがる」「認められたがる」

《4 歳児》

		日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末達成目標
自学	読み	1	本読み【冊数の目安 毎日2冊（自宅・旅行先でもがベスト）】												①読書が習慣化する。 ②累計読書冊数目標：700冊以上 （年毎500冊以上） 【留意点】 ①本読みが習慣化されるように、毎日継続する。 ②短い読みが続く子は、単語を早く読ませるのも良い。
		2													
		3													
		4													
		5													
		6	読み確認：短い読み（ゆっくり）～スムーズ（速く）～スラスラ（意味を理解しながら）読めるように。時には、読みの上手な子に読んでもらい、先生が質問を出してみたりして意図づけを行う。												
		7	時間がかかる子は、他の子よりも読みに触れる回数を多く行う。例えば、登園後、給食後に1冊読んで自由時間とか。一人でさせるのではなく、友達に付き合ってもらおうと良い。												
	書き	8													①「はじめのいっぽ」① 終了100% ②「ちからづよく」② 終了100% ③「たのしく花ひらく」③ 終了100% ④「まなぶちから」④ 50冊目まで終了100% 【留意点】 ①書く、見て写せることができ、上手な字が書けるようになる。 ②上記の通りできるようにするにはどうすれば良いのか職員は工夫する。 ③どうすれば、全員の子どもが、止め・はな・はらいがマスターできるか、教員の工夫が必要。
		9	はじめのいっぽ①		ちからづよく②				たのしく花ひらく③				まなぶちから④【年長5月迄】		
		10													
		11	個々によって進度は異なることを教員は理解して進める												
		12	安易に○はつけない。上手なところ○をする。はみ出したり、形の悪い字には、ページの半分が出来たら、手を上げて差して、気を付けて欲しい部分に赤丸をつけてから残り半分意識してをさせるようにする。												
		13	消しゴムは、先生が持ち、やり直して欲しい箇所の一つか二つを消してやり直させる。子どもが消しているとき時間がかかってしまう。練習は、意識づけと練習の量のバランス！												
		14													
計算	15													①「算数練習帳」② 終了100% ②「算数練習帳」③ 終了100% ③「算数練習帳」④ 終了100% ④「算数練習帳」⑤ 20頁迄終了100% 【留意点】 簡単な繰り上がり、繰り下がり計算が● 指を使わずにでもできる。	
	16	算数練習帳②		算数練習帳③				算数練習帳④				算数練習帳⑤			
	17														
	18	数字もきれいに書くことを意識させる。あまりにも汚い数字は、○をしないで意図を伝えてやり直させる。同じも隣り同様の数字と同じ大きさで意識する。（「書き」で見て真似るは練習済み。数字でも同様）													
	19														
	20														
	21	少しずつ、指示した時間で動けるように声かけする（時計）				少しずつ、指示した時間で自ら動けるよう意識していく（時計）									
体操	22	準備体操は、体操前に、体操後1分間全力疾走（途中変化あり）～柔軟まで5分													①ブリッジ回転 100% ②助走付側転 60% ③逆立ち歩き20歩 20% ④三点倒立10秒 30% ⑤跳び箱4段 100% 【留意点】 新しい子にはどんな目標を考える、そのことが全体のレベルを上げる。
	23	・何でも全力でできる ・かけっこ（スタート・全力） ・開脚柔軟	かけっこ（スタート&全力）				かけっこ（全力&競争）								
	24		ブリッジ回転導入	ブリッジ回転能力別練習			ブリッジ回転～立ちブリッジ *出来る子は、次の段階として「立ちブリッジ」をする。但し、基本柔軟が出来ていない子はさせない。								
	25			側転導入	側転能力別練習			助走付側転練習開始		助走付側転能力別					
	26		壁逆立ち積み上げ（秒数・横歩き）				壁逆立ち積み上げ（秒数・横歩き・手踏み）								
	27		12秒で整列完了								跳び箱導入	・逆立ち歩き練習 ・三点倒立導入	・三点倒立能力別 ・跳び箱4段5段		
	28														

【留意点】①読み・書き・計算は何があってもそれぞれ必ず毎日20分ずつ行う。省略してはいけない。（行事日等で）難しいときは5分でも良い。（重要）

②自学・体操・音楽の中で特に『自学』が重要です。自学は、間違いを含めたやり直しの部分を直ぐに教えないで考えさせることも大切です。
年中からその子に合わせて開始。

③子どもやる気を引き出す『4つのスイッチ』⇒「競争したがる」「真似をしたがる」「ちょっとだけ難しいことをしたがる」「認められたがる」

《5 歳児》

		日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末達成目標
読み		1	本読み【冊数の目安 毎日2冊（自宅・旅行先でもがベスト）】												①読書が習慣化する。 ②累計読書冊数目標：700冊以上 （年間500冊以上）
		2													【留意点】
		3													①本読みが習慣化されるように、毎日継続する。
		4													②短い読みが長く子は、単語を早く読ませるのも良い。
		5													
		6	読み確認：短い読み（ゆっくり）～スムーズ（速く）～スラスラ（意味を理解しながら）読めるように。時には、読みの上手な子に読んでもらい、先生が質問を出してみたりして意図づけを行う。												
		7	時間がかる子は、他の子よりも読みに触れる回数を多く行う。例えば、登園後、給食後に1冊読んで自由時間とか。一人でさせるのではなく、友達に付き合ってもらおうと良い。												
書き		8													①「はじめのいっぽ①」終了100% ②「ちからつよく②」終了100% ③「たのしく花ひらく③」終了100% ④「まなぶちから④」50頁目まで終了100% 【留意点】 筆圧強く、見て真似ることができ、上手な字が書けるようになる。 ・上記の通りできるようにするにはどうすれば良いのか教員は工夫する。 ・どうすれば、全員の子どもが、止め・はな・はらいがマスターできるか、教員の工夫が必要。
		9	はじめのいっぽ①		ちからつよく②						たのしく花ひらく③				まなぶちから④【年長5月迄】
		10													
		11	個々によって進度は異なることを教員は理解して進める												
		12	安易に○はつけない。上手なところに○をする。はみ出したり、形の悪い字には、ページの半分が出来たら、手を上げて進めて、気を付けて欲しい部分に赤丸をつけて残り半分意識してをさせるようにする。												
		13	消しゴムは、先生が持ち、やり直して欲しい箇所の一つか二つを消してやり直させる。子どもが消していると時間がかかってしまう。練習は、意図づけと練習の量のバランス！												
		14													
計算		15													①「算数練習帳②」終了100% ②「算数練習帳③」終了100% ③「算数練習帳④」終了100% ④「算数練習帳⑤」20頁迄終了100% 【留意点】 簡単な繰り上がり、繰り下りの計算が●や線を必要となくできる。
		16	算数練習帳②		算数練習帳③						算数練習帳④				算数練習帳⑤
		17													
		18	数字もきれいに書くことを意識させる。あまりにも汚い数字は、○をしないで意図を伝えてやり直させる。同じ間隔や周りの数字と同じ大きさを意識する。（「書き」で見て真似るは練習済み。数字でも同様）												復習もしつつする
		19													
		20													
		21	少しずつ、指示した時間で動けるように声かける（時計）						少しずつ、指示した時間で自ら動けるよう意識していく（時計）						
体操	・何でも全力でできる ・かけっこ（スタート・全力） ・関節柔軟	22	準備体操は、体操前に、体操後1分間全力疾走（途中変化あり）～柔軟まで5分											①ブリッジ回転 100% ②助走付側転 60% ③逆立ち歩き20歩 20% ④三点倒立10秒 30% ⑤跳び箱4段 100% 【留意点】 早い子にはどんな課題の目標を考える。そのことが全体のレベルを上げる。	
		23	かけっこ（スタート&全力）						かけっこ（全力&競争）						
		24	ブリッジ回転導入		ブリッジ回転能力別練習				ブリッジ回転～立ちブリッジ ＊出来る子は、次の段階として「立ちブリッジ」をする。但し、基本柔軟が出来ていない子はさせない。						
		25		側転導入		側転能力別練習				助走付側転練習開始		助走付側転能力別			
		26	壁逆立ち積み上げ（秒数・横歩き）						壁逆立ち積み上げ（秒数・横歩き・手踏み）						
		27	12秒で整列完了										・逆立ち歩き練習 ・三点倒立導入	・三点倒立能力別 ・跳び箱4段5段	
		28													

- 【留意点】①読み・書き・計算は何があってもそれぞれ必ず毎日20分ずつ行う。省略してはいけない。（行事日等で）難しいときは5分でも良い。（重要）
- ②自学・体操・音楽の中で特に『自学』が重要です。自学は、間違いを含めたやり直しの部分を直ぐに教えないで考えさせることも大切です。
- ③子どもやる気を引き出す『4つのスイッチ』⇒「競争したがる」「真似をしたがる」「ちょっとだけ難しいことをしたがる」「認められたがる」